

平成29年11月10日号 (第179回)

# 阿伎留通信

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

日々寒さが増し、木枯らしの吹く季節となりました。「木枯らし」とは、秋から初冬にかけて吹く強く冷たい風のことです。

毎年、気象庁から「木枯らし1号」の発表がありますが、これは西高東低の気圧配置の時に風速8メートル以上の北風が初観測されたときに発表され、これにより本格的な冬の気圧配置になったことが知らされます。風邪のひきやすい季節になりますので、体調にお気を付け下さい。



今回の阿伎留通信は、

## — 「血液浄化療法室のご紹介」 —

をテーマに外来看護科の村木 様子 看護師長よりお話しさせていただきます。

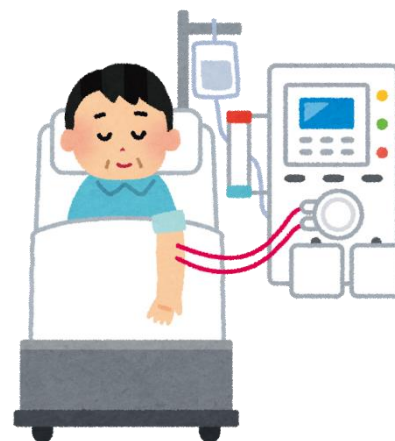
### ・血液浄化療法とは？

血液浄化療法とは、腎臓の働きが低下し、生命の維持が出来なくなってしまう腎不全患者さんの治療です。血液中の有毒な物質を除去する治療方法で、血液透析をはじめ、血漿交換、吸着療法などの方法があります。

この内、最も一般的に行われる血液透析は人工腎臓とも呼ばれ、機械を使って血液をろ過する方法です。腕の血管に針を刺し、血管と透析機器を2本のチューブでつなぎ、

①ポンプを使って血液を体外へ送る→②ダイアライザー

(透析器)を通して老廃物や余分な水分を透析液に移す→③きれいになった血液を再び体内に戻す、という一連の流れを、循環させながら行います。



### ・血液浄化療法室について

当医療センターの血液浄化療法室にはベッドが17床あります。月・水・金は午前と午後、火・木・土は午前のみ血液透析を行っています。

またスタッフは医師4名（腎臓内科医1名含む）、臨床工学技師4名、看護師4名で担当しています。

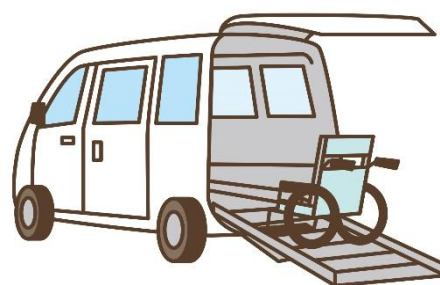
血液浄化療法は体外循環（血液を取り出し、浄化した後に血液を身体に返す）を伴うため、多種多様な機械を用い、高度な知識や熟練した技術が必要となります。そのため、研修参加や学習会を企画しスキルアップに努めると共に、医師・看護師・臨床工学技師が協力しチーム医療を実践し、安心・安全・快適な血液浄化療法を実施しています。



最近では高齢化や透析治療の長期化に伴い、透析治療中に他の病気を発症してしまうリスクも高まっています。その点、当医療センターは総合病院であり、他科との連携が密に行え、リスクのある患者さんに対してもスムーズに対応できることから安心して治療を受けいただけます。

### ・送迎サービスのご紹介

平成29年4月より、血液浄化療法患者さんの送迎サービスを開始しました。サービスの利用対象となる方は、通院手段の確保が困難な方で、自分一人または介助者の付添援助により送迎車への乗り降りが可能な方です。ご利用には事前に申請が必要となりますので、ご希望の方は血液浄化療法室までお問い合わせください。



お問い合わせ先 血液浄化療法室 042-558-0321（代表）

阿伎留通信については、第1回から最新号まで、公立阿伎留医療センターのホームページで御覧になることができます。ホームページアドレス(<http://www.akiru-med.jp>)